

# 「神様の最高傑作」

～ガッズマスターピース～

エペソ2：8－10

## ■ 笑顔…

宣教92年を迎える私たちの教会は「ゆりかごから天国まで笑顔はじける教会」をモットーとしています。笑顔は自分を幸せにするだけでなく他の人も幸せにできます。聖書には「いつも（主にあって）喜んでいなさい。」とあります。私たちクリスチャンはどんな時でも笑顔でいられる理由がちゃんとあります。イエス様はいばらの冠をかぶり、鞭で打たれて血だらけのボロボロな姿で十字架にかかれ亡くなられたのは事実です。けれど、聖書をよくよく読むと「私もこうやって十字架にかかって苦しみ、痛み、悲しんだのだからあなたがたも同じようにいなさい。」なんてイエス様は言うておられません。「あなたの悲しみのために私は悲しみ、あなたの痛みのために私は痛み、あなたの苦しみのために私は苦しんだよ。私が十字架にかかったのだからあなたがたはもう苦しみ、痛み、悲しまなくていいよ。あなたには笑顔でいてほしいんだよ。」と神様は願っておられることを信じます。

## ■ 教会に来ると…

創世記でアダムが最初にしたことというのは神様が造った動物に名をつけることでした。名をつけることというのは大きな意味があるのです。その名を通して夢を描くようにしているのです。ですから夢を描くことをしなくなったら私たちの目的が果たされていないことになります。それができていなければ、敵である悪魔に奪われてしまっただけです。今日から取り返して夢を描いていきましょう。時折、夢が描けないようなことが起こるかもしれません。教会きたのはそのような状況の時に神に創造された姿へ戻るためなのです。

## ■ ①初めに恵みありき！（イパ4：2-5）

私たちは神様が造られた最高傑作（英語でMasterpiece）で、色々なことができるように神様は私たちを整えて下さって造ってくださったのですが、まず知っておかなければならないことは「初めに恵みありき」だということなのです。救いは行いによるのではないということをまずはじめに知って下さい。まず、神様からの一方的な恵み、愛によって救いのプレゼントが与えられているということです。プレゼントをもらう時、私たちは支払をするのでしょうか？ただ感謝して「ありがとう。」と受け取るだけですよね。

私たちの心の中がすべて写るレントゲンがあったらどうでしょう。困ると思いませんか？私たち人間は生まれた時から自己中心です。これは私たち人間が自分を最高傑作として造って下さった神様を無視して自分勝手に歩んだ結果です。かわいい赤ちゃんが「お腹すいた」「おむつ替えて」「眠たい」から泣くというのもよくよく考えたら自己中心でしょう。それが大人になると本音を隠すのが上手になるだけで、心の中の自己中心は全然変わっておらず更に妬みや恨み…といったものが増えているのです。心の中の問題は見えないから、隠されているから何か隠せ通せるように思えるのですが、どこかで必ずボロが出てしまい、その結果を自分で回収しなければなら

ないその時が来るのではないのでしょうか。私たちは心の中を解決しなければなりません。けれど、それは自分自身ではできません。内臓に癌ができた時に外科的な手術ができる医者が必要なように、心の中にメスを入れてくれる医者が必要なのです。それができる医者はイエス様だけです。イエス様は心の中にメスを入れて下り、おどろおどろしく汚い自己中心という罪を全部取り除いて癒し、救って下さるお方であることを感謝します。

## ■ ②信仰によって救われた！（ブル11：6）

神様からの一方的な恵みと愛によって目の前に置いて下さった「救い」というプレゼントを自分のものとするためには唯一の条件があります。それは「ありがとうございます。」と自分の手で受け取ることです。神様は愛のお方、恵みのお方なので無理矢理心の中に土足で入るようなことはなさいません。神様は私たちの心のドアをノックまではします。私たちが自分の手で心のドアを開けてプレゼントを頂く決断をすることが信仰です。そうして神様からのプレゼントを受け取ったその瞬間に救われるのです。この自分の救われた原点をもう一度しっかりと再確認しましょう。

## ■ 神様の作品らしく歩もう！

神様は良い行いを私たちに備えて下さっています。もう一度言いますが、行いは救いの条件ではありません。プレゼントを受け取った瞬間に救われているということをはき違えないで下さい。神様は私たちを最高傑作の素晴らしい器として造って下さっています。自分と同じ顔の人は一人もいません。皆んな違うのです。だから比べる必要はありません。「あの人はあんなことができてる素敵！私はこんなことができるから感謝します！」なのです。神様の作品として造られた私たちは何もできない人なんて一人もいません。ご高齢の方も礼拝に来ていることだけでも素晴らしい、神様は喜んで下さっています。礼拝は奉仕の最高の頂点ですから。また病気等で「祈ることしかできない」とか「車で迎えに来てもらわないと礼拝に行けないから申し訳ない」と思われる方、とんでもないです。牧師のため、教会のために祈って下さっているこんなありがたいことはないし、車の迎えだってそんな役目を誰かに与えて下さっているのです。神様は私たち一人一人の個性・性格・能力…すべてのものを整えて下さって最高傑作として造って下さっていることを感謝します。私たちが神様が造られた目的と心に従って歩んでいく時、周りの人が「あなたをこんな風に輝かせる神様って素敵ね！」と言ってもらえることを想像してみてください。最高の幸せじゃないでしょうか！